

マスターズ JAPAN CUP 2019 競技運営規程

1 大会運営 本大会の運営は、(公社)日本ホッケー協会競技運営規程並びに マスターズ JAPAN CUP 2019 実施要項による。

2 競技規則 2019年度版(公社)日本ホッケー協会ホッケー競技規則による。

3 競技時間 試合時間は、下表のとおりとする。

第1 クォーター	クォーター 間	第2 クォーター	ハーフ タイム	第3 クォーター	クォーター 間	第4 クォーター
15分	2分	15分	10分	15分	2分	15分

4 競技方法 ○男子70+、男子60+、女子35+ (出場チーム数: 4)
トーナメント方式とする。

同点の場合は、ただちにSO戦で勝者を決定する。

○男子50+、女子45+ (出場チーム数: 2)
2回戦とする。

2試合の得点合計が多いチームを勝者とする。(延長戦は行わない)

2試合の点数が同点の場合は、SO戦で勝者を決定する。

5 選手の交代

(1) 選手の交代は、その試合にエントリーされた者の中から選ばれる。

(2) 選手が負傷により出血したとき、頭、心臓付近にボールが当たったときは、直ちに退場すること。

止血処理と傷の手当てが完了するまでは、再出場できない。

最低、2分間は安静とすること。(再出場は、TOの確認を取ること。)

6 服装

(1) ユニフォームとストッキングは、それぞれ統一の物とする。

パンツ・スコートは、色を揃えること。

ユニフォームが揃わない場合は、ビブス着用を、特別に認める。

(2) スパッツ、アンダーシャツについては、チームで同じ色のものとする。

着用と非着用の選手が混在していてもよい。

(3) 選手はシャツ(ブラウス)裾を常にきちんとパンツ(スコート)の中に入れ、(パンツアウトのユニフォームを除く)すね当てを必ず着用してストッキングを上まであげて履くこと。

(4) ゴールキーパーは、装具を完全に着用すること。

(5) ペナルティーコーナーの保護用手袋およびフェイスマスクの使用は認める。ただし、試合開始前に必ず当該試合TOに使用確認と許可を得ること。なお、怪我を防止するため、フェイスマスク等の使用を奨励する。

7 ベンチ

ベンチは、[競技日程表]の左側チームがジャッジ席から見て左側とする。

8 メンバー
チェック

試合開始15分前にメンバーチェック、登録証の確認、リングパス、服装・装具の点検を実施する。

9 その他

(1) 試合中、乱暴なプレーや審判員に対する誹謗等、スポーツマンらしくない行為は、戒める。

(2) 参加者は、「行動規範 確認書」を、しっかり確認すること。

(3) 当大会において、抗議制度はない。

(4) 競技中の疾病・傷害等については、大会本部で応急処置を行うが、その後の治療等はチームの責任において行うこと。(「負傷事故報告」の提出)

(5) その他、本規程に定めのない事項または不測の事態が発生した場合は、TDの指示に従うこと。